
月刊
平凡
heibon
GOLDEN BEST!!
Vol.1
河合奈保子写真集
再会の夏
マガジンハウス・アーカイブス編



河合奈保子写真集

再会の夏



マガジンハウス

contents

写真
マガジンハウス・アーカイブス
https://magazineworld.jp/info/archives/

装丁・デザイン
石江延勝　加藤浩志（アイ・シー・イー）

この写真集はマガジンハウスが雑誌「平凡」で取材を続けてきた中で撮影された
1980年代の河合奈保子さんの写真を新たにデジタルリマスタリングして作られました。
キャプションにある月号のみの表記は「平凡」のカバーデートです。
年月日表記は推定される取材年月日です。
月号表記のあるものは必ずしも当時掲載されたものではなく、
今回初めて公開される貴重な写真も多数あります。
マガジンハウスの豊かなフォトライブラリーをお楽しみください。

再会

あの頃の僕たちはすべてを忘れて夢中になった。
心の底に眠るその宝箱の鍵が、今、掌のなかにある。
ようやくあの日のあなたに、ふたたび、会える。



1981年11月号◎フォト大百科No.1河合奈保子ハッピー・グラフィティ



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1984年6月号◎やったァー! 水着美人五重丸 グァム島ロケ





1984年6月号◎やったァー! 水着美人五重丸 グァム島ロケ



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ


1982年4月号◎オーストラリア・グレート・バリア・リーフロケ



1982年4月号◎オーストラリア・グレート・バリア・リーフロケ


たのしいクッキング
日本料理のすべて
たのしいクッキング




1980年8月号◎さわやかメロンちゃん







1982年3月号◎雪の精（北海道）



1983年6月号◎春風のメロディーにスキップ



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ

無垢

弾けた。美しさが。溢れ出した。優しさが。
その無垢なる姿には一片の嘘もなかったけれど、
それがやっぱり、清らかで、眩しくて、惑わせた。



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1982年7月号◎お待たせ水着 82夏 やっぱり夏はこの娘が一番



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1984年6月号◎やったァー！水着美人五重丸 グァム島ロケ







1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1981年7月号◎ビキニに海がテレてる!





1982年7月号◎お待たせ水着'82夏 やっぱり夏はこの娘が一番



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ





1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1982年7月号◎お待たせ水着'82夏 やっぱり夏はこの娘が一番





1982年7月号◎お待たせ水着 82夏 やっぱり夏はこの娘が 番



1982年7月号◎お待たせ水着 82夏 やっぱり夏はこの娘が一番







1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ





1982年7月号◎お待たせ水着 82夏 やっぱり夏はこの娘が一番

青春

アンバランスだからこそ、光るものがある。
フェイクかもしれないけれど、真実がある。
躍動するきみの、青い絵の具のグラフィティー。



1984年5月号◎家庭菜園にいま夢中 いつまで続くか自信ないけど 似合うのなんのって



1982年9月号◎ユニホームできた! 気分は原選手 特訓が終わったら晴れ姿見せますよォ







1985年5月号◎拝見!! スーイスイの旅先ライフ もうひとつの生活実態 NAOKO in HOTEL

1981年2月号◎心ポカポカ初滑り キャハッ! 見て見て立てました



1983年9月号◎生い立ち履歴書 いま20歳 思い出に胸キュ〜ン







1983年9月号◎生い立ち履歴書 いま20歳 思い出に胸キュ〜ン




1982年4月号
1983年3月号
1982年7月10日
1984年9月号
1982年8月
1982年4月号



1982年6月号

1983年11月号

1982年7月10日

1982年4月号

1981年12月号

1985年2月号



1984年1月号◎あったかスキンシップ 気分はポッカポカ(大分・別府)







1981年5月号◎初恋の人訪ね歩き ゴリラ先生のにおいがする（福岡・東福間）



1981年3月号◎笑顔いきいき古都の旅(鎌倉 銭洗弁天)



1981年3月号◎笑顔いきいき古都の旅(江ノ島電鉄 長谷駅)



1983年6月号◎友達作ろう 世界のワッ!! オーストラリア・シドニー



1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイドバリ島ロケ



1982年[illegible]◎大[illegible]大地にす[illegible]れ[illegible]ゲン[illegible]トラリア[illegible]



1981年8月号◎奈保子牛乳いかがです? 突然のアーバン・カウガール!? (千葉・マザー牧場)

告白

本音を言うと、きみのことを何も知りはしないのに、
好きだの嫌いだの言っている自分が正直、恨めしい。
きみを知ることから始めたい。正直言えば、本当の。



1984年9月号◎7月24日・21歳 7670日 ハッピーデー



平凡パンチ1980年10月13日号◎「ヤング・ボーイ」が大ヒット。郵便貯金ホールでの1stコンサートに期待感が高まる。



1984年11月6日◎第15回日本歌謡大賞にて放送音楽プロデューサー連盟賞を「唇のプライバシー」で受賞。音楽プロデューサーからも認められるその歌唱力だった。



1982年2月号◎付録カレンダー（12月・クリスマス）　1981年10月5日、番組リハーサル中での腰椎圧迫骨折から一ヶ月半ののちコルセットはめて復帰。入院中に書かれた様々な思いはワニブックスより「わたぼうし翔んだ 奈保子の闘病スケッチ」として発表。



1980年11月号◎激烈!! 新人賞レースおなじみ6人のハッスル度
「(前略)さて新人賞だが、音感抜群、のびやかな声、それにこのボディー。やはり『胸』ひとつリードしていると考えるべきだろうな」

1985年3月号◎充実の日々、熱く語る乙女心 河合奈保子モノローグ 夢中
「いつまでも自然で、無邪気な部分を持っている女性でいたいのです。最近、
大人っぽくなったって言われるけど、自分じゃそうは思わないの」





1980年12月号◎河合奈保子 大事典
●性格 いやなことはすぐに忘れる。
●子供の頃の夢 ピアノ教師
●クセ 話しながら髪をなでること



1983年7月号◎父と娘の愛情ストーリー
「父の仕事で幼稚園を3つも変わった私は引っ込み思案に。そんな時、私はお父さんと約束をとりつけたのです。小学校では引っ越ししないでネって。今考えると約束を守るために父はどれほど犠牲を払ったのか、感謝してもし足りない気持ちでいっぱいです」



週刊平凡1986年4月11日号◎(好きな人を聞かれ)「キラキラ輝いている人が好き。十朱幸代さんとか吉永小百合さんとか」。女性じゃないんだってば!



週刊平凡1986年4月11日号◎「ドラマがキライとかじゃなく、歌いたくて入った世界だし、器用じゃないので歌に絞ってもらっていました。歌にプラスになるならそろそろお芝居もいいかなと思い始めてはいるんですけどね。」





1985年3月号◎充実の日々、熱く語る乙女心 河合奈保子モノローグ 恋愛
「ボーイフレンド=結婚かどうかは疑問です。赤い糸って本当にあるような気も
します。仕事をしている人の場合、結婚は早いか遅いかの両極端に別れちゃうん
じゃないのかな。仕事してイキイキしている女性はたくさんいますし」

偶然というドラマ。河合奈保子の引き寄せる魅力。

伊東秀雄

デビュー間もない河合奈保子さんを担当したのは、今から36年前のこと。

その頃は今と違って、携帯電話もないしインターネットもない。もちろんタレントが発信するブログなんていう便利なものも存在していない。だから雑誌はテレビ以上に、タレントとファンをつなぐ大切なツールだった。その重要性はたぶん、今とは比べ物にならなかったと思う。

編集者もタレントも、ファンにどんな形で情報を発信するか、必死だった。毎号の企画に関して、タレント本人とも様々な打合せをした。河合奈保子さんも例外ではなかった。いや、誰よりも協力的で、何より、彼女には「偶然を引き寄せる」不思議な力があった。

あれは1982年の1月。前の年の秋に腰椎を骨折していた彼女を連れて、オーストラリアロケに向かった。「平凡」の独占取材だった。まだコルセットをしていた彼女は、グレート・バリア・リーフの雄大な風景を前にして何かから解き放たれたような自然な表情を浮かべた。「いいものができる!」私とカメラマンは闘志を燃やした。

まずはロケハンだ。海岸線を歩く。すぐに打ち捨てられた白い錨を発見。まさに奈保子の撮影のためにセットされたよう。翌日、彼女には「これ、昨日徹夜で白いペンキを塗ったんだよ」と小さな嘘をついて撮影にのぞんだ。私の嘘に気づいていたのかどうなのか、とにかく彼女は、これまでにない突き抜けた表現をしてくれた。この写真集にも収められているあの夕景の1枚である。

当時、グレート・バリア・リーフには日本人観光客などほとんどいなかった。きっと彼女はオーストラリアという土地に強烈な印象を受け、それがめぐりめぐって、決して忘れることができない大切な場所になっていたのだろう。オーストラリアに住むキッカケは、あのときの撮影の思い出があったのかどうか、是非聞いてみたい。

北海道の雪原での撮影では、壊れたグランドピアノが置いてあったこともあった。

それもこれも「偶然を引き寄せる」河合奈保子という女性が持っている力なのかもしれない。

最後にひとつだけ。

「平凡」の独占取材だったバリ島でのロケが終わった夜、カメラマンやスタイリストたちといっしょに、デッキチェアに寝そべって満天の星空を見上げたことがあったよね、覚えているかな?

あのとき、君は未来の何を想っていたのだろうか。河合奈保子20歳の時だ。

(元「平凡」担当編集者)

音楽的才能があったからこそ
アイドルとして駆け抜けてこられた。

古池鋭也（こいけとしなり）

「ＨＩＤＥＫＩの弟・妹オーディション」では次世代アイドル発掘を目的に現場を任されました。大阪予選の会場を歩き回っていて、すぐに彼女を見つけました。周りの空気が輝いている。合格した彼女に「君は食べるとすぐに栄養になるタイプだから気をつけて」と言ったんですが、後日談として、その一言でもう自分はないな、と思ったそうです。決勝はリハーサルの時点でほぼ全員一致で彼女。声質も音程も抜群ですから、当然です。

絶対音感があり、楽器もできて、譜面も読める。当時のアイドルでは群を抜いて音楽的素養がありました。デビュー曲「大きな森の小さなお家」の初打ち合わせでは譜面を見てすぐ初見で歌ってくれました。ダイヤの原石の一閃。当時のアイドルは本当に忙しく、レコーディングが夜9時10時開始なのもザラ。どの現場ももう少し時間があれば、と時計の針と戦いながらレコードを作っていました。そんなとき、奈保子のストロングポイントが生きてきます。すぐに歌えるから、譜割りを変えたり、歌唱法を変えたり。いろいろ試せる。難しい曲も歌いこなすのでプロデュースでも攻めていける。すでにデビュー曲のころからスタジオではみんな「奈保子ちゃん」じゃなく尊敬すべき仲間として「奈保子」と呼んでました。

アイドルではなくアーティストとしての自覚が芽生えたのは「けんかをやめて」のころ、竹内まりやクンとの出会いが大きかったと思います。姉と妹のようにいろいろ話していました。「ハーフムーン・セレナーデ」は奈保子の作曲ですが、初めて聞いた時から完成されてました。手直しなし。作曲の過程では大御所も含めみな手直しするんですが、「十六夜物語」のときはダメ出しすると、私がコーヒーを飲んでいる傍らで彼女はピアノに向かいさらさらっと直して、これどうですか、と。「スカーレット」「ＪＡＰＡＮ」のころにはもう僕はすることがない。免許皆伝だと思いました。

歴史に「もしも」はないけれど、２０１６年の今、36年前の彼女が現れたら、シンガー・ソング・ライターとして育てたい。詩でも頑張ってもらって私小説的でおしゃれなポップチューンを。全部の自分を使って表現するのが今の音楽だから。

先日、ラジオから「十六夜物語」が流れてきて、パーソナリティが「この人、可愛い人ですが、めっちゃ歌うまいんですね～」と言ってました。共同作業をした身としては嬉しくて涙が出ました。せっかく「メンバーズ・オンリー」であの高みまで登ったのだから、ぜひまた「創」ってください。

（元日本コロムビア担当プロデューサー）



1984年9月号◎7月24日・21歳 7670日
ハッピーデー
「7670日——なんの数字だかアナタわかる!?
7月24日で21歳を迎えた奈保子の、これが生きていた証。
21年間を振り返ってみると、やっぱり奈保子にとっての大事件は歌手としてデビューできたこと。小さい頃から歌が大好きだった私が、歌手として5年間もやってこれたという幸運をしっかり受け止めて、これからも歌手として、またひとりの女性として、成長していきたいな」



変身

目を離さず追いかけていたつもりなのに、
瞬きたったひとつのあいだに「事件」は起こった。
果たして、「境界線」はどこにあったのだろうか？

1984年6月号◎やったァー! 水着美人五重丸 グァム島ロケ





1983年4月号◎その日、奈保子は





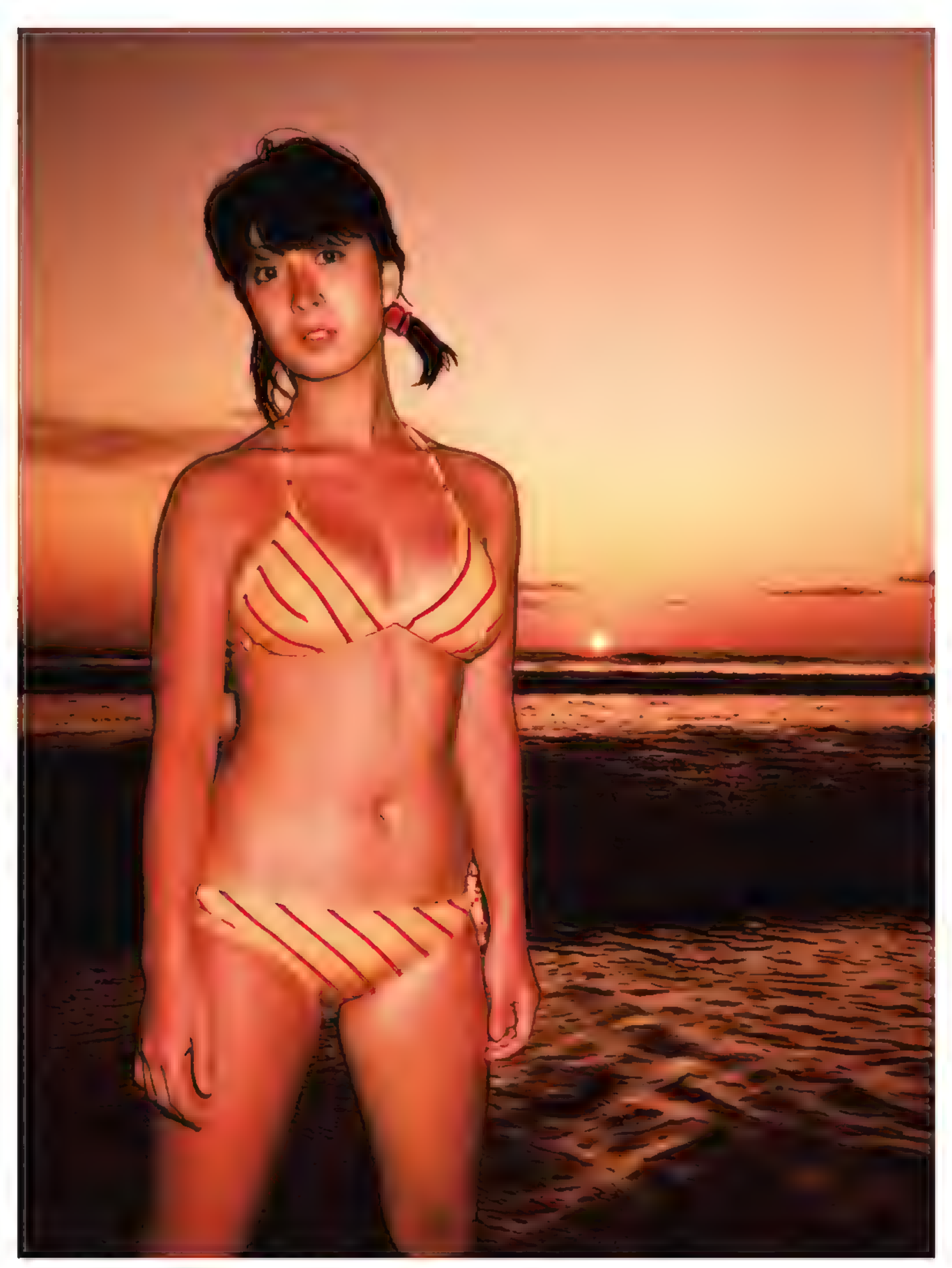
1984年6月号◎やったァー! 水着美人五重丸 グアム島ロケ





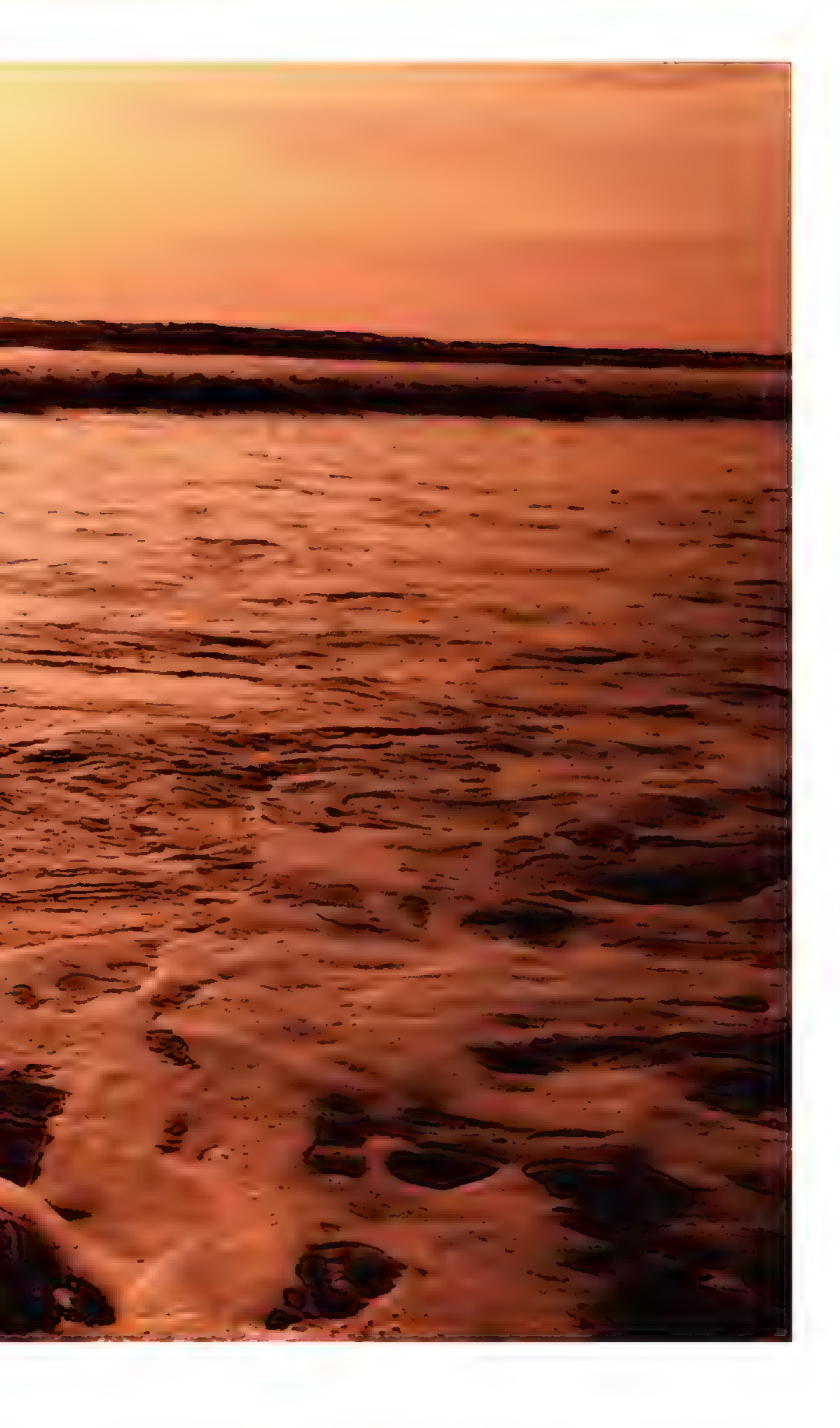




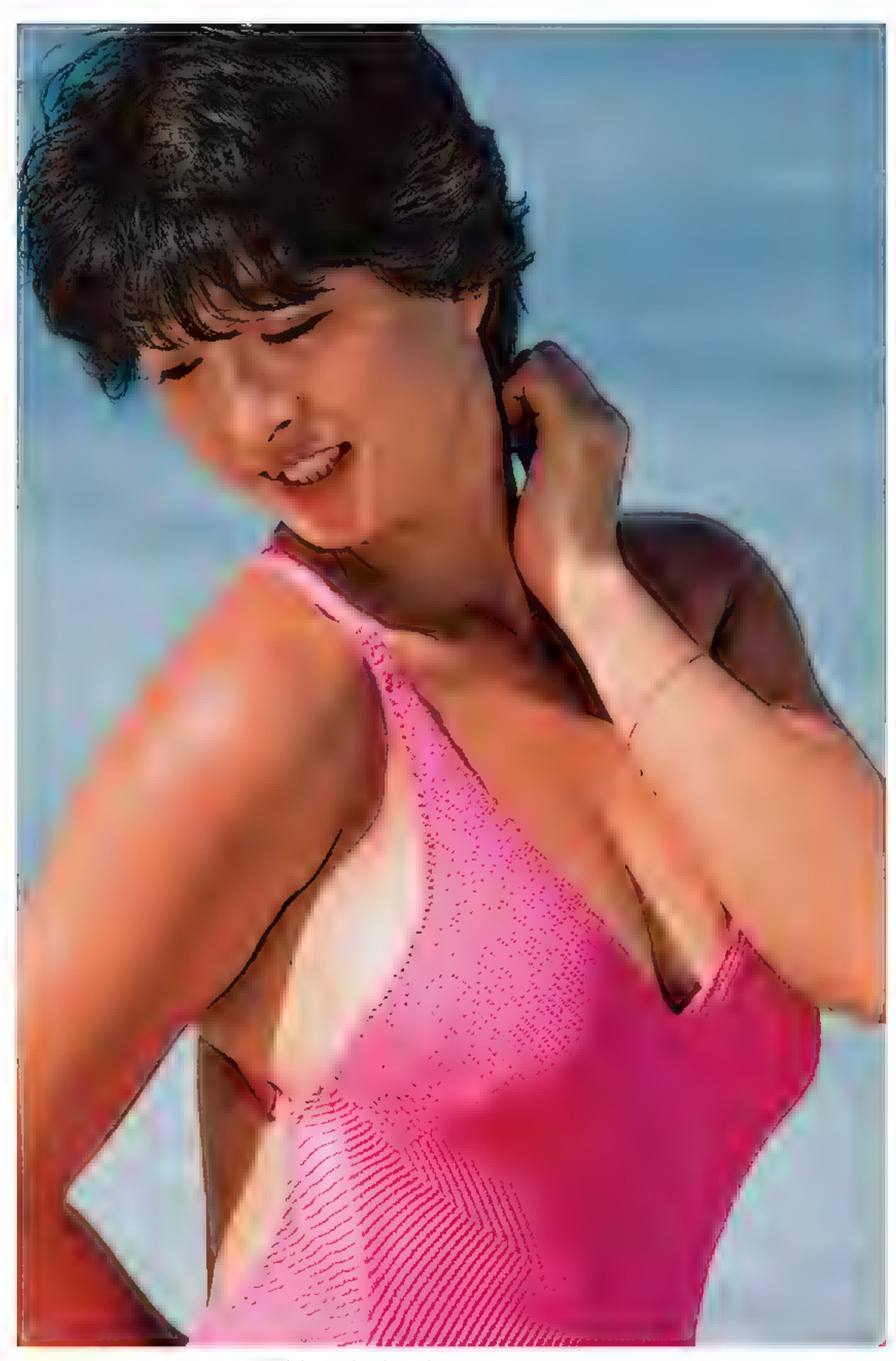


1983年4月号◎その日、奈保子はマーメイド バリ島ロケ









1984年6月号◎やったァー! 水着美人五重丸 グァム島ロケ





情熱



1982年8月号◎スプリング・コンサート

息をすることも忘れてしまうほど夢中になって
大きく強く高く熱く、光速で駆け抜ける。
光のステージも僕たちも、きみを、待っている。





1986年7月24日©STARDUST PARADISE





1981年6月号◎スプリング・コンサート



1983年10月号© 20 CARNIVAL



1983年10月号© 20 CARNIVAL



1981年1月号◎カナリー・コンサート Part1



1983年6月号◎スプリング・コンサート

平凡パンチ1985年12月16日号◎ハーフムーン・セレナーデ

1983年10月号◎20[illegible]NIVAL

1982年8月号◎スプリング・コンサート



1981年1月号◎カナリー・コンサート Part1



1984年5月号◎スプリング・コンサート

1984年10月号◎サマースペシャル'84

1983年12月31日◎NH[illegible]

1[illegible]年2月号◎秋の静けさの中に



1983年10月号© 20 CARNIVAL



1995年10月号◎サマー・ツアー'85 恋[illegible]熱い夏



1983年[illegible]月号◎20 CARNIVAL

1984年10月号◎サマー・スペシャル'84

1987年3月15日◎スプリング・コンサート

1983年6月号◎スプリング・コンサート

1982年8月号◎スプリング・コンサート

1983年10月号◎20 CARNIVAL

平凡パンチ1985年12月16日号◎
ハーフムーン・セレナーデ

1982年7月25日◎サマー・ヒロインNAOKO

1983年[illegible]月号◎スプリング・コンサート



1986年12月31日© NHK 紅白歌合戦



1984年10月号◎サマー・スペシャル 84





1984年7月号

すべてを兼ね備えたそれは静かに熱く包み込む。
いつだって僕たちの目的地を明るく照らしてくれる。
あえて全力で宣言しよう。河合奈保子は太陽である。



1984年6月号◎グァム島



1984年8月号





1983年4月号◎バリ島



1984年6月号



1984年8月号◎ラスベガス








1984年11月号



1983年3月号

1982年10月号





週刊平凡1981年6月25日号◎密着グラフ35時間河合奈保子を追っかけろ

声援

遠くから聞こえるその歓声は
あの時も今も変わらず暖かくそして眩しい。
響け、どこまでも。届け、「あなた」のもとに。



平凡パンチ1987年05月18日号 撮影 武藤義

この章はファンの皆さんが選んだ写真とコメントで構成しています。





平凡パンチ1987年05月18日号
◎「可愛さと美しさを兼ね備えた表情の奈保子さんは音楽の女神のよう」(ペナン島への招待さん)
撮影 武藤義



1981年11月号◎「気持ちが落ち着く1枚です」(cozyさん)



1983年4月号◎「もし間近で見ることができてたらこんな
笑顔の人だったよね、と思える一枚」(とわいらいとさん)



1982年6月号◎「花飾りをもつ奈保子さん。みんなを幸せな気持ちにさせてくれます」(かどちゃんさん)



1984年6月号◎「この表情が最高だから。やはり笑顔が良い」(NANGAさん)



1982年10月号◎「ウエディングドレスを着た奈保子さんを自分の隣に立たせてみたい！」



週刊平凡1980年4月3日号◎「歌手・河合奈保子はここから始まった！絶対に外せない写真です！」(鹿田　聖さん)



1984年9月号◎「一番好きだった髪型なんで」
(たけしくんさん)



1983年9月号◎「聖母生誕の地である旧愛染橋病院を末長く記録にとどめておきたい」



遠い存在のようで実はファンとの距離が最も近かったアイドルではなかったでしょうか（kazuさん）



1983年4月号◎「優しい笑顔・眼差し、爽やかな雰囲気が一番好きです」(scarletsugarrainさん)

Purchase Bonus!!

購入特典

～特大ポスター販売～

A 1,200yen

とっておきの各限定1000枚。

あなただけの1枚。
あなただけの、河合奈保子。



A-1
1982年3月号◎雪の精
北海道ロケ

A-2
1982年4月号◎
オーストラリア・
グレート・バリア・リーフロケ

A-3
1984年6月号◎
グァム島ロケ

価格　タイプA　¥1,200+税(送料込み)
　　　タイプB　¥2,700+税(送料込み)
　　　タイプD　¥2,200+税(送料込み)
サイズ　B2(515 × 728 ミリ)
梱包　専用筒に丸め、折り目をつけないよう梱包します。

購入方法

1.メールを送付

この電子書籍版写真集を購入した証となるもの(購入メールなど)をメール本文に貼り付け、①氏名、②年齢、③性別、④職業、⑤郵便番号、⑥住所、⑦電話番号、⑧メールアドレス、⑨写真集の感想を明記して以下のアドレスにお送りください。

magazinehousearchives@gmail.com

2.メールで告知する特設サイトで購入

応募券確認後、弊社よりメールを差し上げます。ポスター購入サイトの情報などをお伝えしますのでそちらに従い購入を進めてください。

購入特典ポスターの在庫は紙版の写真集と同じです。品切れの場合はご容赦ください。

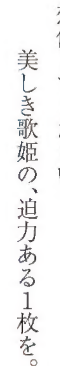
注文受注後、1週間程度でポスターを発送します。

※レイアウトの関係上多少のトリミングが発生することご了承ください。　※ポスター四隅のどこかなどに写真集ロゴが入る予定です。


B-1


B-2


B-3




B-4

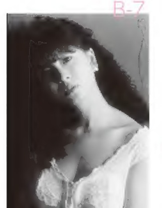

B-5


B-6



2,700yen

写真集の中から10枚をセレクト。
少ロット生産・限定販売のプレミアム版。


B-7


B-8


B-9


B-10


D-1


D-2


D-3



2,200yen

電子書籍発売記念一般購入ポスター
どなたでも購入できます。



1984年1月号◎「奈保子さんが歩んできた道を連想したから」

月刊平凡 GOLDEN BEST!! Vol.1

河合奈保子写真集 再会の夏

発行日	2016年8月31日
編集	マガジンハウス・アーカイブス
発行者	石﨑 孟
発行所	株式会社マガジンハウス 〒104-8003 東京都中央区銀座3-13-10 フォトクリエイティブ事業部 知的財産室 ☎03-3545-7043 http://magazineworld.jp/

Special Adviser 伊東秀雄

Special Thanks to Soirée(Shintarou TSUCHIYA)

＊写真のごくごく一部には詳細不明のものもありますが、当時の出版事情などに鑑み歴史的意義があるものとして掲載させていただきました。なにかございましたらマガジンハウス知的財産室までご連絡いただければ幸いです。真摯に対応させていただきます。



この作品は2016年8月にマガジンハウスより発行された
「月刊平凡 GOLDEN BEST!! Vol.1　河合奈保子写真集
再会の夏」の電子書籍版です。